

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 11 日

事務事業名: 岩瀬認定こども園管理運営事業. 事業区分: 新規/継続, 単独/補助. 担当: 02021000246. 所属課: 040201 児童福祉課. 政策体系: 総合計画の施策名 O202 子育て支援及び少子化対策. 財務会計上の位置付け: 一般会計. 事業期間: 単年度繰返し.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要. ①事務事業の概要 (事務事業の全体像): 7カ月~就学前児を預かり保育教諭が保育教育にあたる. ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順: 一緒に遊びながら生活習慣を身に付けさせ子どもが楽しく過ごせるように見守る.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容): 1号認定9:00~14:00, 2,3号標準保育 7:30~16:00. ②対象 (誰、何を対象にしているのか): 保育所に入所している児童と保護者. ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか): 入所児童が安心・安全に楽しく過ごせる.

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量 (事業費) の推移表. 27年度 (実績), 28年度 (実績), 29年度 (計画), 30年度 (目標), 31年度 (目標). 項目: 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計 (A), 正規職員従事人数, 人件費 (B), トータルコスト (A)+(B).

事業費の内訳表. 28年度事業費 実績 (千円) と 29年度事業費 予算 (千円) の対比. 項目: 01 報酬, 08 報償費, 11 需用費, 12 役務費, 13 委託料, 14 使用料及び賃借料, 15 工事請負費, 16 原材料費, 18 備品購入費, 19 負担金補助及び交付金.

(4) 当該年度の実施内容

当該年度の実施内容表. 29年度の事業内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容. 注: 下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. 主要事業: 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	岩瀬認定こども園管理運営事業	事務事業No.	20201000246	所属課	児童福祉課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

児童福祉法第35条第3項の規定に基づき、働く保護者と幼稚園教育を希望する家庭を支援するためのこども園を平成28年に開園した。核家族・女性の社会進出に伴い、共働きの保護者が多くなりこども園に児童を預ける保護者が多い。少子化の傾向が強まっているが低年齢児の入所児童数は増加している。近年、保育ニーズは高まり、我が子を中心として考える傾向が強くなっている。園に対する要望も増えている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

改善点として、年齢別のクラス編成が望ましい、との意見があるが、アンケートの結果によると96%の保護者が安心して仕事に出かけられるという意見が寄せられている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

希望保育実施施設を減らすことにより、保護者に送迎の負担がかかってしまう。また、子どもが、慣れない施設なので不安が生じやすい。改善策として、各保育所から勤務にたる。さらに保護者に説明をし理解協力を得る。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	子供たちが安全に楽しく過ごすために、心身共に健やかに育つことに結び付く。また、保護者が安心して子供を預けられ、仕事との両立ができること、子育て支援の推進に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	こども園の場合、営利目的でなく家庭状況が厳しい子や、心身の発達に問題のある子、保育を必要とする子を受け入れている。子育て支援は市としての課題であり、こども園が人とつなぐ地域の核となる施設として保育を行なっていく必要がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	アンケートを実施した結果、96%の保護者が満足しているが、少数意見として行事日程の見直しについて要望があったので向上の余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	子供が健やかに育ち、保護者が安心して預けられる環境を失われ、就労している保護者にとって仕事を継続していくことが困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	年間280日以上の開園が義務付けられており、ほかに手段はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	年々入所児童も低年齢化しており、安心の保育のためには保育教諭の数を削減することはできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	保育料については、保護者の課税額に応じて設定しており、額については公正公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>